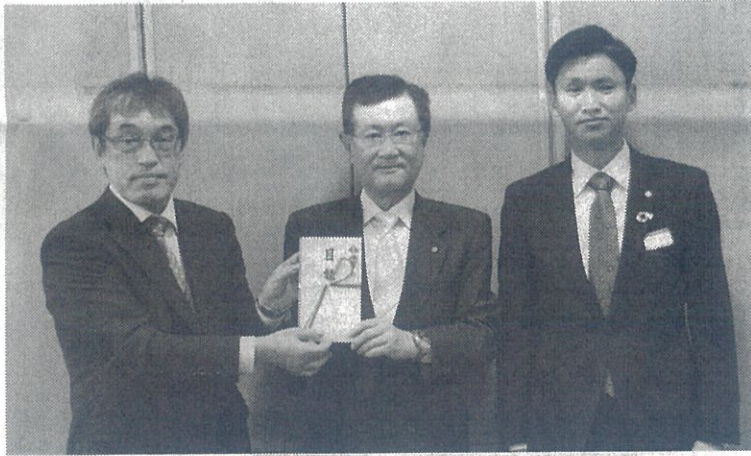


プレス空知 10/13 掲載



寄付贈呈式に臨んだ、左から喜多校長、松浦社長、高橋本店長

岩見沢中央小 に10万円寄付

松浦建設のSDGs私募債

【岩見沢】空知信用金庫は6日、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）に貢献したい企業向けの「そらちしんきんSDGs私募債」の発行に伴う寄付贈呈式を中央小で開いた。松浦建設（松浦淳一社長）が8月に発行した5千万円の一部10万円を、同信金が

ら同校に寄付した。

同社は6日付で市内小学校への寄付活動などを盛り込んだ「SDGs宣言」を行い、寄付はその一環。同校は平和や人権、福祉などを柱にした「SDGs等学習支援プログラム」に全校挙げて取り組んでいる。同社は、そうした活動に生かしてもらおうと同校を寄付先に指定した。

この日は、同信金常勤理事の高橋哲也本店長から同校の喜多慎治校長に目録を手渡した。松浦社長は同校の同窓会長も務めており「寄付を有効に活用してほしい」とあいさつ。喜多校長は「未来を担う子どものために役立たい」と述べ、同信金と同校に感謝状を贈った。【末永直樹】